

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	日本海側における港湾の漂砂による航路・泊地埋没対策に関する研究委託
業 務 概 要	中国地方の日本海側における漂砂、海浜変形による土砂輸送のメカニズムの解明や将来の施設配置計画における土砂輸送の予測及び対策について検討するにあたり、航路・泊地埋没予測システムの改良、施設整備過程における地形変化特性の検討を行うものである。
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に そ の 所 属 す る 部 局 の 名 称 及 び 所 在 地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 安達 崇 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28
契 約 年 月 日	令和6年6月4日
契 約 業 者 名	国立大学法人 鳥取大学
契 約 業 者 の 住 所	鳥取市湖山町南4丁目101
契 約 金 額 （ 税 込 み ）	¥3,582,946
予 定 価 格 （ 税 込 み ）	¥3,582,946
随意契約によることとした理由	本業務は、中国地方の日本海側における漂砂、海浜変形による土砂輸送のメカニズムの解明や将来の施設配置計画における土砂輸送の予測及び対策について検討するにあたり、航路・泊地埋没予測システムの改良、施設整備過程における地形変化特性の検討を行うものである。なお、近年、台風襲来に伴う河川流出土砂や隣接する海浜からの漂砂による航路・泊地の埋没の発生が問題となっている鳥取港を対象とする。 業務の遂行にあたっては、日本海側における海岸侵食や航路・泊地埋没などの対策に係る研究実績を有していること、海浜変形予測や航路・泊地埋没予測などに必要な3次元海浜変形予測モデルに精通しているとともにこれを使いこなすことができること、また、予測システムの改良において必要となる地形データ（鳥取港の漂砂・海浜変形特性の把握のための高波浪や台風襲来前後の測量データ）を収集・保有しているとともに、これを用いた解析・評価を行う能力を有することが必要である。 国立大学法人鳥取大学は、日本海側における漂砂・海浜変形の対策に関する研究成果があり、「流れの3次元性を考慮した3次元海浜変形予測モデル」、「波と流れの相互干渉を考慮した3次元海浜変形予測モデル」、「河口砂州の地形変化予測モデル」など本研究に必要な3次元海浜変形予測モデルを独自に開発・保有している。また、調査船を保有のうえ、検討に必要な昨年度の鳥取港にかかる地形データ（測量データ）を保有しており、前述の予測モデルで解析・評価を行うことができる。 以上のことから、本業務を遂行するに必要な十分な能力を有している。本業務を遂行するに必要な能力を有する者は、国立大学法人鳥取大学以外にも存在する可能性があることから、令和6年4月26日から令和6年5月16日までの期間において、本業務の受託希望者の公募を行ったが、参加意欲確認書の提出者がいなかった。 以上のことから、国立大学法人鳥取大学を本業務の契約予定者として選定することとした。
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和6年6月4日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和7年3月17日
備 考	